

2016 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 13:15~14:15 60分)

1. この冊子は、出願時に選択した科目の問題冊子です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 「宗教改革」に関する次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。(32点)

西ヨーロッパ中世封建社会において、ローマ=カトリック教会では、教皇を頂点に、大司教、司教、司祭や修道院長などピラミッド型の聖職者の階層が組織されていた。村落や都市の教区ごとに教会が設置され、魂の救済は教会によってのみ可能であるとされ、人々の生活は、出生、結婚、臨終など人生の節目の儀式を含め、教会に密接に結びついていた。教会は農民から 税を取り立て、さらに、大司教や修道院長は荘園領主でもあった。

⁽¹⁾1517年、ドイツ中部ザクセンの 大学神学教授マルティン=ルターは、魂の救済は善行にはよらず、キリストの福音を信ずることのみによるとの確信から、当時ローマ教会から売り出されていた の悪弊への攻撃を含む95カ条の論議を発表した。ルターは、教皇から破門され、1521年皇帝カール5世にヴォルムスの帝国議会に呼び出されたが自説を撤回せず、ザクセン選帝侯の保護の下で、⁽²⁾『新約聖書』のドイツ語訳を完成させた。

農民はルターの説に影響を受け、農奴制の廃止などを要求する蜂起を起こした。ルターは、当初農民に同情的であったが、やがてこれを弾圧する諸侯の側に立ち、農民蜂起⁽³⁾は敗北した。ザクセン選帝侯をはじめ、ルターの教えを採用した諸侯は、カトリック教会の権威から離れ、領内の教会の首長となって、修道院の廃止や、教会儀式の改革などを進めた。このような制度は と呼ばれた。カトリックを支持する皇帝、諸侯とルター派を支持する諸侯、都市との対立は戦争にまで発展した後1555年の 宗教和議で妥協がなされた。この和議で諸侯は、カトリックカルター派のいずれかの宗派を選択する権利を得たが、個人の信仰の自由は認められなかった。

フランス人カルヴァンは、⁽⁴⁾ 市に招かれて、1541年以降、政教一致の神権政治を行った。カルヴァンは、魂が救われるかどうかは、あらかじめ神によって決定されているという説を唱え、信徒は神から与えられた職業に禁欲的にはげむべきであり、その結果としての蓄財は許されるとした。このため、カルヴァンの教えは西ヨーロッパの商工業者の間に広く普及した。

イギリスにおいて、国王 は、スペイン王家出身の王妃との離婚を認めようとし、教皇と対立し、国王がイギリス国内の教会の首長であるとする1534年

【H】法によって、カトリック世界から離脱した。さらに修道院を議会立法で廃止し、その広大な土地財産を没収して売却した。新興地主層【I】はこの土地を購入し、羊毛需要に応えるために、耕地や共有地を⁽⁵⁾囲い込み、牧羊場とした。メアリ1世の治世下で、スペイン王室と結んでカトリックを復活させる動きがあったが、次の国王エリザベス1世は、1559年の統一法によってイギリス独自の教会制度を確立した。これに対して、ピューリタンと呼ばれた人々は、国教会の主教制などを批判し、カルヴァン主義の徹底を求めた。

フランスでは、16世紀半ば以降、南フランスを中心に、貴族や商工業者の間にカルヴァン派が急増し、カトリックとの対立が激化した。この対立に大貴族間の権力争いも重なって、1562年に内乱が起り、【J】の虐殺などの事件を伴いながら30年以上に及んだ。1598年に発せられた【K】の王令によって、新教徒にも信仰の自由が認められ内乱は終息した。

【設問Ⅰ】 【A】～【K】の中に入るもっとも適切な語句（B, E, F, Kは地名）を記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 下線部(1)～(5)について、以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部(1)に関連して、8世紀ごろに始まり、11世紀ごろから西ヨーロッパに普及した農業のやり方を以下のものから1つ選びなさい。なお該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 灌漑農業 (b) 二圃制 (c) 三圃制 (d) ノーフォーク農法

問2 下線部(2)に関連して、選帝侯について、以下の文で誤っているものを1つ選びなさい。なお該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) 1356年に皇帝カール4世によって発布された勅書で成文化された。
(b) 1356年に発布された勅書は金印勅書と呼ばれた。
(c) 1356年に発布された勅書では、皇帝選挙権を7名の選帝侯に認めた。
(d) 1356年に発布された勅書では、選帝侯には大司教も含まれていた。

問3 下線部(3)に関連して、この農民蜂起について、以下の文で正しいものを1つ選びなさい。なお該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) この農民蜂起はミュンツァーに指導された。
- (b) この農民蜂起はツヴィングリに指導された。
- (c) この農民蜂起はジャックリーの乱と呼ばれた。
- (d) この農民蜂起はワット=タイラーの乱と呼ばれた。

問4 下線部(4)に関連して、カルヴァンについて、以下の文で誤っているものを1つ選びなさい。なお該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) カルヴァンはルターの影響で福音主義を主張した。
- (b) カルヴァンはシュマルカルデン同盟を指導した。
- (c) カルヴァンはルター派が維持した司教制を廃止した。
- (d) カルヴァンは教会員によって牧師を補佐させる長老制を導入した。

問5 下線部(5)に関連して、囲い込みについて、1516年に出版され、「羊が人間を食い殺す」と批判したものを1つ選びなさい。なお該当するものがない場合は(e)を選びなさい。

- (a) ミルトン『失樂園』
- (b) トマス=モア『ユートピア』
- (c) デフォー『ロビンソン=クルーソー』
- (d) スウィフト『ガリバー旅行記』

II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(33点)

中国のように王朝が何度も他民族に替るという歴史を経験してきた国家は、それほど例がない。^Aその都度、文化を爛熟させる歴史を持つのが中国だ。それなら中国がもっともグレードの高い料理を持っていた時期はいつだったのだろう。

『東京夢華録』に描かれた夢の都、北宋の汴京(開封)まで、われわれ現代人の舌が美味と感じる料理は待つべきだろう。食の風俗を見事に開花させた文化都市が汴京だった。しかしそれはまだ享樂には至っていない。北宋人が失意のうちに江南に逃れ、臨安(杭州)で南宋を作った時に、先行きのない焦燥感が生んだ享樂主義が、かつての汴京の料理を磨き上げた。貴族たちは素材と調理法、そしてお抱えの料理人を競い合った。

中国料理が近代的な精神構造を持ち始めるのは清の時代まで待たなければならないのかもしれない。清の時代の到来は、漢族文化と満族(満州族)文化との激しい攪拌だった。^Bそして他の時代には見られなかった清の特徴は、情報公開である。中国という国はどこも首都に文化が集中する。全国から料理人が名をあげようとやってくる。当然、名料理人は朝廷や役人^{かんがん}に召し抱えられる。しかし情報公開の気運に押されて、名料理人たちがノウハウを漏らす。こうして文化と風俗が交じりあい、また拒否しあって独特の雰囲気を作っていく。

そんな気風の中で、乾隆帝^{けんりゅうてい}は満族でありながら漢族の料理を愛好し、とくに江南料理を偏愛した。文人の乾隆帝がかつての南宋文化を懐かしんだということもあっただろう。しかしそれ以上に乾隆帝はグルメだった。よく北京から江南の揚州に巡幸に出かけたが、それは江南料理を食べたかったためであるらしい。そして遂には蘇州の名料理人、張東官^{ちやうとうかん}を 城の総料理長に招いたのだった。

要するに、漢族の味は他民族によって解体され、またさらに統合して現代に至る中国料理の味覚を獲得した。またその漢族の味はモンゴル族、回族と同化して広大な国土を統治しようとする多民族の歴史であり、世界的にも例のない進歩過程である。飛躍的に料理の種類が増え、体系もはっきりしてきた。地方料理の性格がなお一層はつきりとしてきた。

乾隆帝のあとにはそれを退廃的な方向に持っていき、一挙に熟成させる力が必要

だった。それを見事に果たしたのが西太后^{さいたいこう}だった。あのモンスターがいなければ、中国料理は清の崩壊とともに輝きを失っていったかもしれない。

C (勝見洋一『中国料理の迷宮』講談社現代新書より。一部改定した。)

【設問 I】 下線部 A に関連し、北方諸民族が中国を征服して建てた次の四つの王朝について、 ～ にあてはまるもっとも適切な語句を記述解答用紙に書きなさい。

- ① 遼^{りょう}は、北方民族の契丹人^{きつたん}が漢民族の一部を征服し、支配して建てた王朝である。遊牧狩猟民と、農耕民とを分けて統治する 体制という国家体制をとり、契丹文字という民族文字を制定するなど、自民族の制度文化の維持をはかった。
- ② 金は、ツングース系女真（女直）人の完顔阿骨打^{ワンヤンアグダ}が建てた国である。遼を滅ぼし、宋を南方に追って、中国東北地区・蒙古・華北を征服した。金の行政・軍事組織は「・謀克」と呼ばれた。
- ③ モンゴル帝国第 5 代皇帝 は、大都（現在の北京）を都に定め、国号を元と称した。のち南宋を滅ぼして中国全土を支配し、チベットや高麗を属国として大帝国を築いたが、1368 年、明の太祖 に滅ぼされた。
- ④ ヌルハチは女真（女直）を統一して、1616 年に金（後金^{こうきん}）を建国し、明を滅ぼした。第 2 代皇帝ホンタイジは国号を清と改称し、第 3 代皇帝順治帝は都を北京に移した。17～18 世紀の康熙^{こうき}・・乾隆の三皇帝の時代に支配領土が拡大したが、19 世紀に入って欧米列強の侵略や、太平天国などの農民反乱により衰退した。

【設問Ⅱ】 以下の①～④の文章は、波線部の都市(a)汴京^{べんけい}（開封）、(b)臨安（杭州）、(c)揚州^{ようしゅう}、(d)蘇州^{そしゅう}について説明したものである。それぞれの文章について、正しいものにはRを、誤りを含むものにはWを、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ① (a)は黄河と大運河との合流点に位置する都市で、張^{ちやう} 扶^{たくだん}端の作品『清明上河図』という絵巻はこの都市の繁栄を描いたものといわれている。
- ② (b)は浙江省の商工業都市である。ヴェネツィア生まれの商人で探検家のマルコ=ポーロは、『世界の記述』の中で「キンザイ」という名でこの都市をヨーロッパに紹介した。
- ③ (c)は大運河沿いの通商都市で、唐・宋時代には蕃坊^{ばんぼう}が設けられた。蕃坊^{ばんぼう}とは国際貿易港に設けられた外国人居留地である。
- ④ (d)は明朝の都となった長江南岸の水陸交通の要衝^{ようしゅう}に位置する都市である。古来、三国の呉や六朝・中華民国などの都としても栄えた。

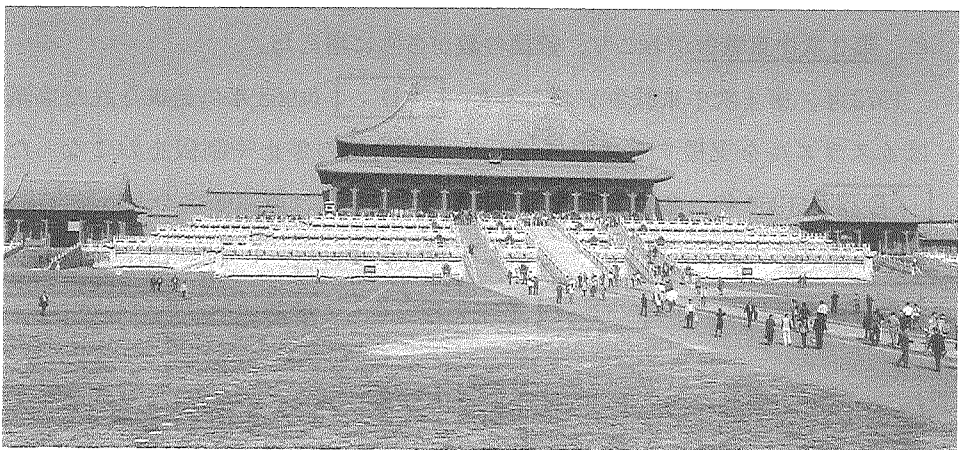
【設問Ⅲ】 下線部Bに関連し、清は漢人に対して懐柔策と威圧策を併用した。次の文のうち、清朝で行われた事柄として誤りを含むものを二つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 六部など中央官庁の諸官には漢人の採用を禁止し、モンゴル人や色目人を重用した。
- ② 漢人の男性に辮髪^{べんぱつ}を強制し、思想や言論を厳しく取り締まった。
- ③ 官吏登用試験である科挙を盛んに行い、儒学を振興し、中国文化を守る姿勢を示した。
- ④ 思想統制のために特定の書物の刊行を禁ずる「禁書」を行った。
- ⑤ 皇帝自ら中国文化に深い関心を示し、大規模な国家的編纂事業を行った。この王朝で編纂されたものには『五経大全』や『四書大全』がある。
- ⑥ 白蓮教などの民間宗教を邪教として厳しく取り締まった。
- ⑦ 漢人による清の正規軍として緑営を編制した。緑営は治安維持などの警察の機能を果たした。

【設問Ⅳ】 下線部Cに関連し、以下の文は清が半植民地化され、やがて崩壊に至る一連の出来事について述べたものである。□か□～□こ□にあてはまるもっとも適切な語句を記述解答用紙に書きなさい。

- ① 列強による中国分割が進行するにつれ、中国では排外運動が激化してきた。北京条約によりキリスト教の布教が認められ、布教が活発になると、各地で反キリスト教を掲げた□か□運動が起こった。
- ② □か□運動の流れをくんだ宗教的武術集団の義和団は、清朝をたすけ外国勢力を駆逐するという意味の「□き□」をスローガンとして掲げ、山東省で蜂起し、北京の公使館を包囲した。
- ③ 清朝はこの義和団の運動に乗じて列強に宣戦したが、義和団鎮圧のため□く□，□け□を中心として、イギリス、ドイツ、フランス、アメリカ、オーストリア、イタリアの8カ国が共同で出兵し、北京を制圧した。
- ④ 西太后は西安に逃れ、敗れた清朝は列強11カ国と「□こ□」に調印し、巨額の賠償金を払い、外国軍隊の北京駐屯などを認めた。これにより、中国の半植民地化は決定的なものとなった。

【設問Ⅴ】 □ア□城は、北京に造営された明・清時代の宮城である。現在は故宮と呼ばれる以下の写真の宮城の名を、記述解答用紙に書きなさい。



Ⅲ 第2次世界大戦後の中近東について次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

(35点)

第2次世界大戦中あるいは大戦後、① 数か国が独立した。1945年、アラブ7カ国は② アラブ連盟をつくり統一行動をめざした。国際連合は の委任統治領であった地方をユダヤ人地域とアラブ人地域に分割する案を示した。1948年、ユダヤ人がイスラエルをこの地に建設したことに対して、アラブ諸国は反対し、軍隊を送った。これが第1次中東戦争、別名 戦争である。この戦争の結果、100万人を超えるアラブ人が難民になった。

エジプトでは第2次世界大戦後、政権に対する民衆の不満が高まり、スエズ運河一帯からのイギリスの撤退を求める運動も激化し、1936年にむすばれたエジプト=イギリス同盟条約が1951年に破棄された。そして1952年に③ クーデタがおこった。1954年にエジプト政権はスエズ運河一帯からのイギリス軍を撤兵させた。1956年にアメリカとイギリスが④ アスワン=ハイダム建設の資金援助の停止をおこなったため、エジプトはこれに対抗する措置としてスエズ運河の国有化を宣言した。この宣言のため、エジプトは外国から侵攻された。これが⑤ 第2次中東戦争である。1958年、エジプトはシリアと 共和国を成立させた。しかしその後、同共和国は解消された。

イスラエルとアラブ諸国の抗争はその後も継続しており、1964年にはパレスティナ人を代表する機関として、⑥ パレスティナ解放機構 (PLO) が組織された。1967年に、⑦ 第3次中東戦争がおこり、難民の数がさらに増えた。

1973年、第4次中東戦争がおこると、 (1968年に結成された協議機関) はイスラエルを支援する諸国に対して原油供給の停止や制限をおこなった。また (1960年に産油国の国際組織として発足) は原油価格の大幅増を決定した。この原油価格の急激な上昇は、安価な石油に依存していた先進諸国に大きな打撃を与えた。また、1979年に 革命がおこると、原油価格は再び高騰した。^(ア)

【設問Ⅰ】 上記の文章の から に入るもっとも適当な語句を記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 上記の文章の波線部(ア)は、一般的に何と呼ばれているかを記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅲ】 上記の文章の下線部①～⑦に関する以下の問の答えを、マーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①に関する記述として正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合には(e)を選びなさい。

- (a) イランはフランスの委任統治下にあったが、大戦後に王国として独立した。
- (b) シリアはフランスの委任統治下にあったが、大戦中に王国として独立した。
- (c) ヨルダンがフランスの委任統治下にあったが、大戦後に共和国として独立した。
- (d) レバノンがフランスの委任統治下にあったが、大戦中に共和国として独立した。

問2 下線部②に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合には(e)を選びなさい。

- (a) これはイラク、サウジアラビア等の7カ国で結成された。
- (b) これはイエメン、シリア等の7カ国で結成された。
- (c) これはイラン、ヨルダン等の7カ国で結成された。
- (d) これはエジプト、レバノン等の7カ国で結成された。

問3 下線部③に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合には(e)を選びなさい。

- (a) 自由将校団がこのクーデタをおこした。
- (b) このクーデタによって、当時の国王が追放された。
- (c) このクーデタによってナセルが初代大統領になった。
- (d) このクーデタによってエジプトは共和国になった。

問4 下線部④に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合には(e)を選びなさい。

- (a) エジプトがバグダード条約機構(METO)への参加を拒否したため、ダムにかかわる資金援助が停止された。
- (b) スエズ運河の国有化宣言は、ダム建設のための必要資金を確保するためにナセルがおこなったものである。
- (c) ダムはソ連の援助で最終的に完成した。
- (d) このダム建設は、当時エジプトが挑んだ最大の国家プロジェクトであった。

問5 下線部⑤に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合には(e)を選びなさい。

- (a) エジプトに侵攻したのはアメリカ、イギリス、イスラエルおよびフランスである。
- (b) 国際的な批判を受け、国連の勧告にしたがって、エジプトに侵攻した外国は1957年に撤退した。
- (c) この戦争以前は、イギリスがスエズ運河株を買収し、運河の経営権を握っていた。
- (d) ウラービー(オラービー)の反乱を鎮圧したイギリスは運河地域を軍事占領し、実質的にエジプト全域を支配した。

問6 下線部⑥に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合には(e)を選びなさい。

- (a) 1974年、国際連合はPLOを準加盟として承認した。さらに同年、アラブ首脳会議はPLOをパレスティナの代表であると承認した。
- (b) PLOは、イスラエルに土地と権利を奪われたパレスティナ人によって組織された。
- (c) 1969年にアラファトが議長に就任してから、当時のPLOによる武装闘争はさらに激しくなった。
- (d) PLOとイスラエルとの秘密交渉の成果として、パレスティナ暫定自治協定がオスロで調印された。

問7 下線部⑦に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合には(e)を選びなさい。

- (a) イスラエルはアラブ諸国に対して奇襲^{きしゅう}攻撃をおこなった。
- (b) イスラエルが占領したのは、ゴラン高原、シナイ半島およびヨルダン川西岸であった。
- (c) この戦争はアラブ諸国が短期間で敗北し、別名「六日間戦争」あるいは「六日戦争」と呼ばれている。
- (d) この戦争によって、アラブ民族主義は退潮^{たいちょう}した。

